

平成 29 年度 全国安全週間 鳥取労働局の行事 ～鳥取労働局長による建設工事安全パトロールを実施～

鳥取労働局では、7月1日から7日までの期間実施される全国安全週間の鳥取労働局の実施事項として、鳥取労働局長 内田 敏之（うちだ としゆき）は、**労働災害の防止と死亡災害の撲滅**を目指して、『建設工事安全パトロール』を実施しました。

この安全パトロールは6月30日（金）午前10時から鳥取市青谷町地内の「鳥取西道路青谷高架橋第2鋼上部工事」【施工業者・宮地エンジニアリング(株)（本社・東京都）】及び「鳥取西道路青谷高架橋第3鋼上部工事」【施工業者・日本車輛製造(株)（本社・名古屋市）】の建設工事現場において、鳥取労働局の内田局長をはじめとする労働局職員及び鳥取労働基準監督署職員により実施しました。



パトロールの冒頭挨拶をする内田局長

安全パトロールでは、工事事務所において、冒頭、内田局長が「建設現場は、日々作業内容や作業方法などが変わる厳しい作業環境となりますが、元方事業者による統括的な安全管理に取り組むことが大変重要です。鳥取労働局では、労働災害の減少を図るために、『安全「見える化」とっとり運動』を展開していますので、現場全体での

取り組みをお願いします。また、これから暑くなる時期を迎えます。本年度から、『STOP！熱中症クールワークキャンペーン』を展開していますので、熱中症予防にも気を配っていただきますようお願いします。」と挨拶の中で呼び掛けました。



続いて、施工業者の宮地エンジニアリング(株) 及び日本車輛製造(株)の両現場所長から工事概要(鳥取西道路となる橋梁を建設する工事であること)や現場の作業では、高所での作業があるため、高所作業の労災防止対策の取り組み状況などについて説明がありました。

その後、工事現場を視察し、現場における安全衛生対策の実施状況と『安全作業のための「見える化」活動』の取り組み状況の確認を行いました。



安全パトロールの様子



メディアの取材を受ける内田局長

視察後、工事事務所に戻って講評及び意見交換が行われ、鳥取労働局から、「安全な足場及び通路の整備、『安全作業の「見える化」活動』などの取り組みが行われており、今後もこれらの取り組みを継続することにより、労働災害ゼロを目指してほしい。」とお願いして、安全パトロールを終了しました。